

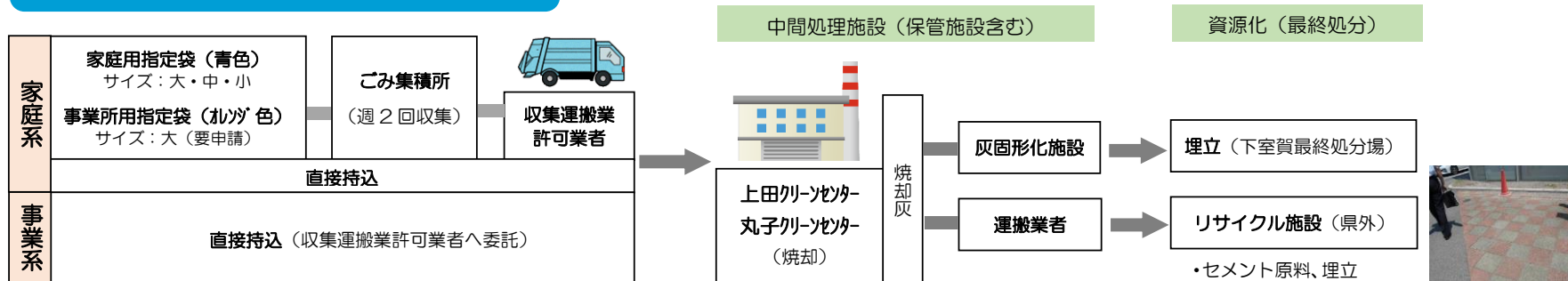
資 料 編

① 上田市可燃系ごみ処理フロー図	14
② 上田市可燃ごみの現状	15
③ 上田及び丸子クリーンセンター組成分析結果（過去10年平均）	16
④ 生ごみ収集量の推計（家庭系生ごみの資源化）	18
【参考】 市民アンケート結果（抜粋）	19

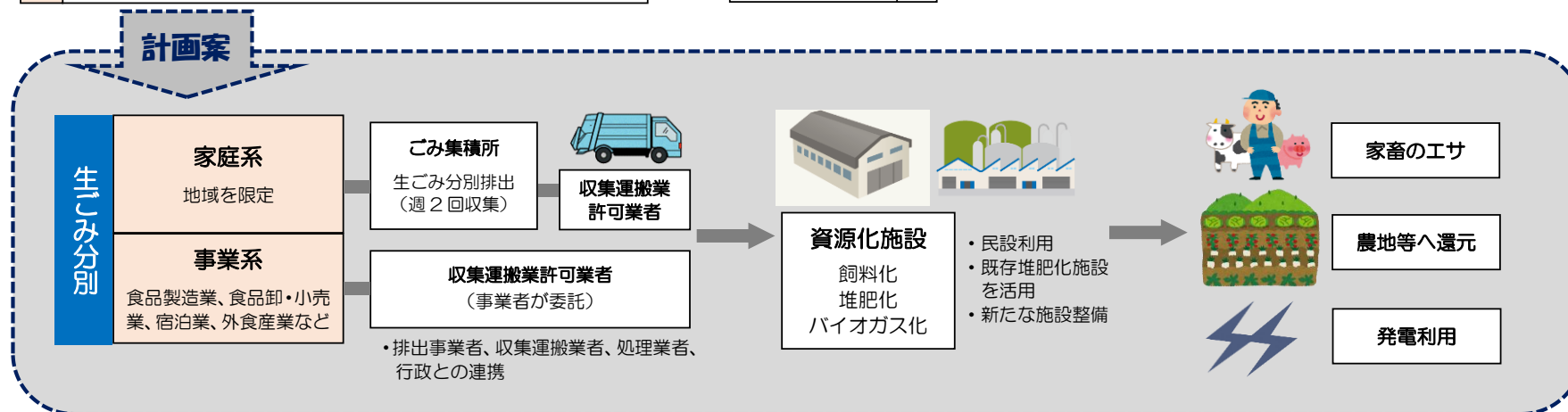
① 上田市可燃系ごみ処理フロー図

燃やせるごみ

平成 30 年度可燃ごみ処理量 33,696 t / 年
(うち家庭系: 21,593 t、事業系: 12,103 t)

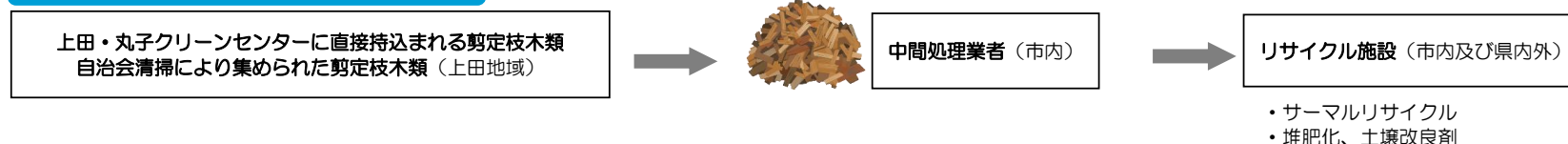


計画案

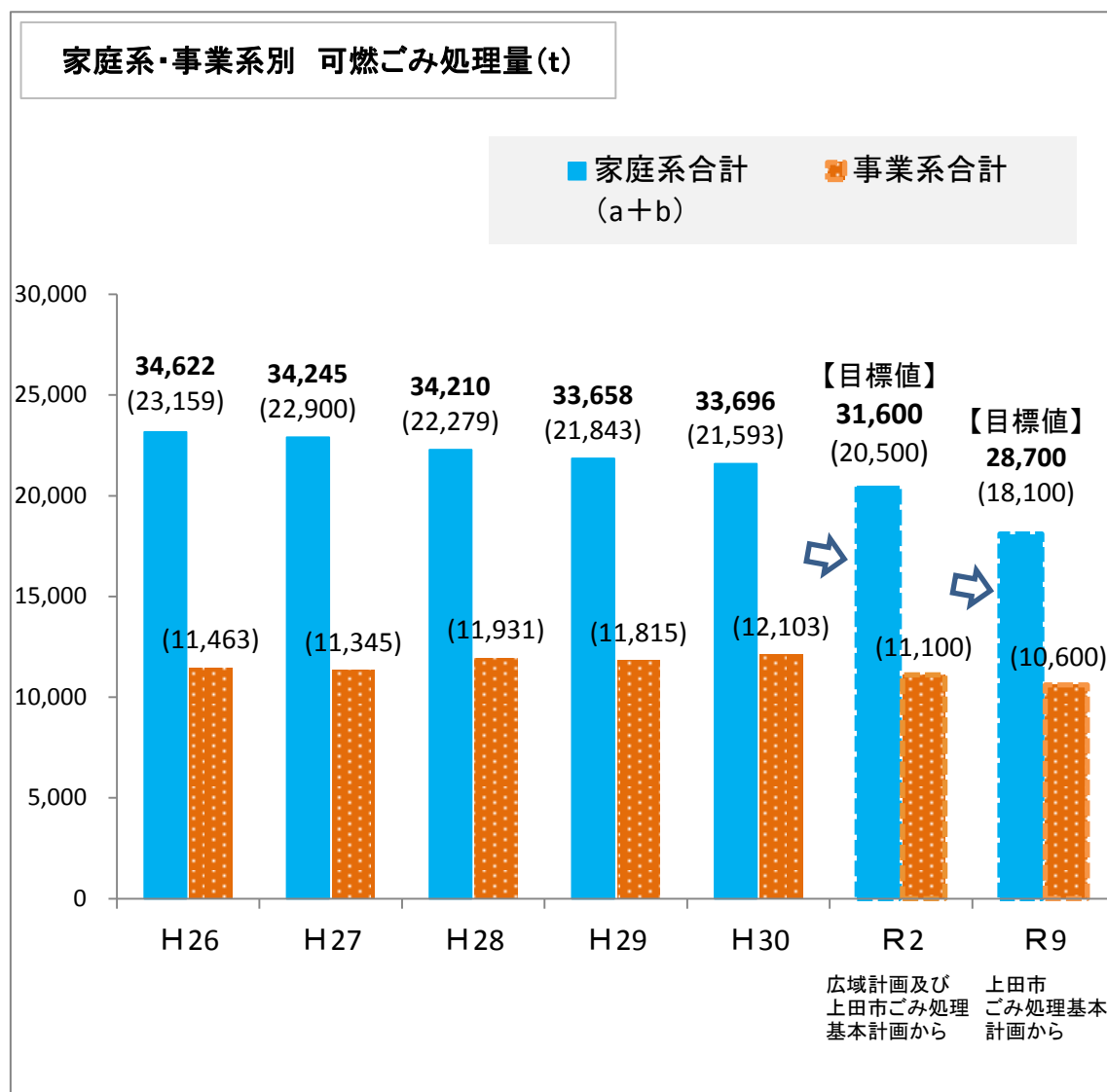


剪定枝木類の再資源化

平成 30 年度再資源化量 686 t / 年



② 上田市可燃ごみの現状



	(家庭系収集) a	(一般持込み) b	家庭系合計 (a+b)	家庭系 対前年度比	事業系合計	事業系 対前年度比	総合計(t)	総合計 対前年度比
H26	22,841	318	23,159	△222t(△0.9%)	11,463	△155t(△1.3%)	34,622	△377t(△1.0%)
H27	22,579	321	22,900	△259t(△1.1%)	11,345	△118t(△1.0%)	34,245	△377t(△1.1%)
H28	22,028	251	22,279	△621t(△2.7%)	11,931	586t(5.2%)	34,210	△35t(△0.1%)
H29	21,604	239	21,843	△436t(△2.0%)	11,815	△116t(△1.0%)	33,658	△552t(△1.6%)
H30	21,349	244	21,593	△250t(△1.1%)	12,103	288t(2.4%)	33,696	38t(0.1%)
R2	第3次ごみ処理広域化計画(広域連合) 上田市ごみ処理基本計画 目標値		20,500		11,100		31,600	
R9	上田市ごみ処理基本計画 目標値 (最終年次)		18,100		10,600		28,700	

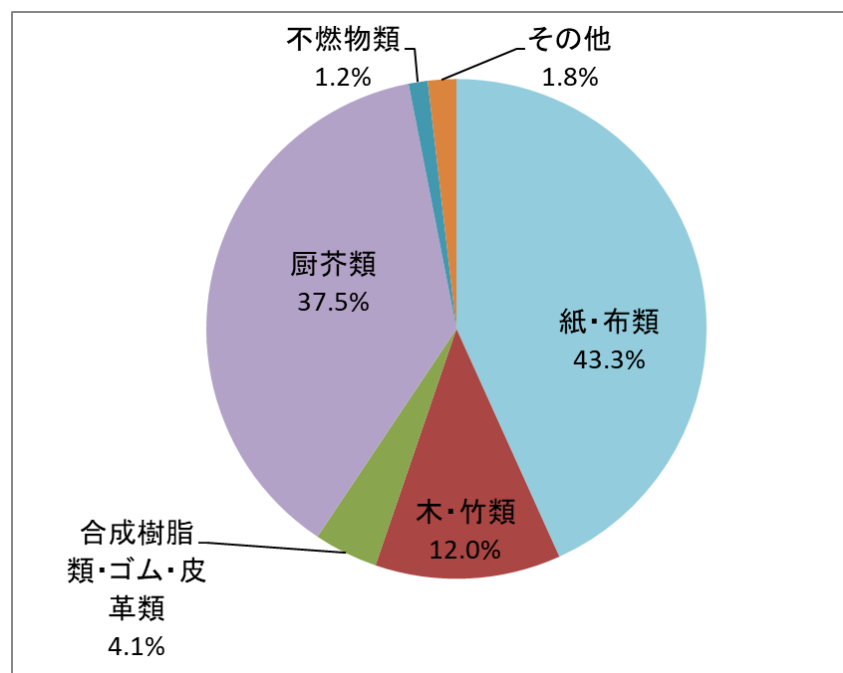
③ 上田及び丸子クリーンセンター組成分析結果（過去10年平均）

◎過去10年間平均の湿重量(上田クリーンセンター)

組成		乾物組成	固有水分 (参考)※1	湿重量※2	湿重量
		A	B	C= A×100/(100-B)	D= C/C合計
		%	%		%
物理組成	紙・布類	51.9	35.50	80.5	43.3
	木・竹類	15.6	30.10	22.3	12.0
	合成樹脂類・ゴム・皮革類	6.4	16.80	7.7	4.1
	厨芥類	21.9	68.65	69.9	37.5
	不燃物類	2.2	4.00	2.3	1.2
	その他	2.0	41.45	3.4	1.8
合計		100.0		186.0	100.0

※1 「ごみ処理設備の計画・設計要領 2006 改訂版」(社団法人 全国都市清掃会議)より設定

※2 各品目の乾物組成 (A) ごとの固有水分 (B)により湿重量へ換算した数値

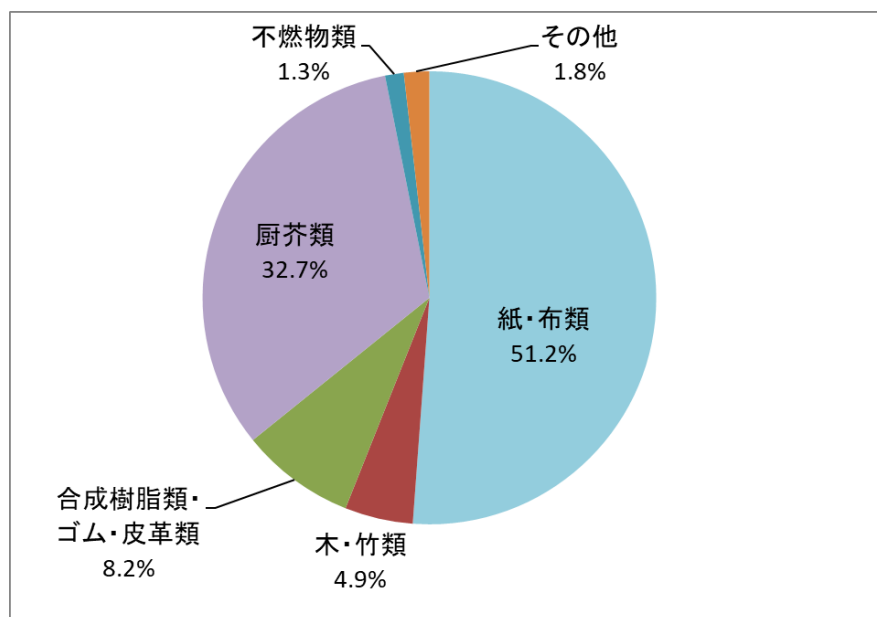


◎過去 10 年間平均の湿重量(丸子クリーンセンター)

組成		乾物組成	固有水分 (参考)※1	湿重量※2	湿重量
		A	B	C= $A \times 100 / (100 - B)$	D= C/C合計
		%	%		%
物理組成	紙・布類	59.3	35.50	91.9	51.2
	木・竹類	6.1	30.10	8.7	4.9
	合成樹脂類・ゴム・皮革類	12.2	16.80	14.7	8.2
	厨芥類	18.4	68.65	58.7	32.7
	不燃物類	2.3	4.00	2.4	1.3
	その他	1.9	41.45	3.2	1.8
合計		100.0		179.7	100.0

※1 「ごみ処理設備の計画・設計要領 2006 改訂版」(社団法人 全国都市清掃会議)より設定

※2 各品目の乾物組成 (A) ごとの固有水分 (B)により湿重量へ換算した数値



④ 生ごみ収集量の推計（家庭系生ごみの資源化）

自己処理が困難な地域として、上田中央地域から用途地域内の自治会を対象とする範囲を見込む。

家庭からの生ごみ分別排出による収集量は、市民の協力度合いを 5 割、4 割、3 割とする参加率から推計する。（下表参照）

- ・ 5 割：先進事例から参加率の高い割合を参考に設定
- ・ 4 割：市民アンケートの結果に、継続的な取組の協力度合いを勘案して設定
- ・ 3 割：近頃事業開始した自治体の実績から設定

表：生ごみ排出量推計

区分	世帯数 (全世帯数に対する割合)	生ごみ排出 推計量(t/年)	収集計画量	
			参加率 (仮定)	年間排出量 (t/年)
上田中央地域※	13,713 (20.2%)	1,631.7	5 割	816
			4 割	653
			3 割	490
用途地域（上田地域）※	25,323 (37.2%)	3,013.2	5 割	1,507
			4 割	1,205
			3 割	904

68,040 世帯 157,173 人（R1.9.1 住民基本台帳）

平成 30 年度 家庭系可燃ごみ量 21,593 t × 厨芥類 37.5%（上田クリーンセンター組成）= 8,097 t

生ごみ排出量 原単位：119.0 kg/世帯年 326 g/世帯日

※上田中央地域：東部・南部・中央・北部・西部地区の範囲

※用地地域：都市計画法の地域地区のひとつで、用途の混在を防ぐことを目的としている。住宅、商業、工業など市街地の大半としての土地利用を定めるもので、第一種低層住居専用地域など 13 種類

対象エリアにおいては、可燃ごみで処理されていた生ごみを分別する手間や専用袋等の負担が生じる。十分な啓発により理解を広め、実践者を増やし、事業への参加率の割合を 4 割と見込み、生ごみの排出量を試算する。

なお、取組は段階的な実施を目論み、実証実験を兼ね、市民理解の高まりを見極めつつ収集範囲を広げていく。

家庭からの生ごみ分別排出による収集量の推計は、約 650 t ～ 1,200t とする。

推計量内訳（参加率目標を 4 割と設定）

区分	世帯数	世帯数(4 割)	日排出量 (t/日)	年間排出量 (t/年)
上田中央地域	13,713	5,485	1.8	653
用途地域（上田地域）	25,323	10,129	3.3	1,205

【参考】市民アンケート結果（抜粋）

令和元年度 家庭ごみの排出状況に関するアンケート

【アンケートの概要】

◆目 的

市民の家庭内から排出されるごみについて実態を把握し、今後の施策展開の参考とすることを目的としたアンケート調査を実施。

◆内 容

「燃やせるごみ（青字の指定袋）」、「燃やせないごみ（赤字の指定袋）」、「危険・有害ごみ」、及び「プラマーク付きプラスチックごみ（緑字の指定袋）」について、排出頻度や排出状況について質問。

燃やせるごみ（青字の指定袋）・・・・・・・・・・【Q 1～ 7】
燃やせないごみ（赤字の指定袋）・・・・・・・・・・【Q 8】
危険・有害ごみ ・・・・・・・・・・【Q 9】
プラマーク付きプラスチックごみ（緑字の指定袋）・・・・・・・・・・【Q 10～12】
その他 ・・・・・・・・・・【Q 13】

◆対象地域 上田市内（上田、丸子、真田、武石地域）

◆対象者 市内在住の18歳以上の市民

◆発送数 1,000件

◆標本抽出方法 無作為抽出

◆調査方法 郵便による発送・回収

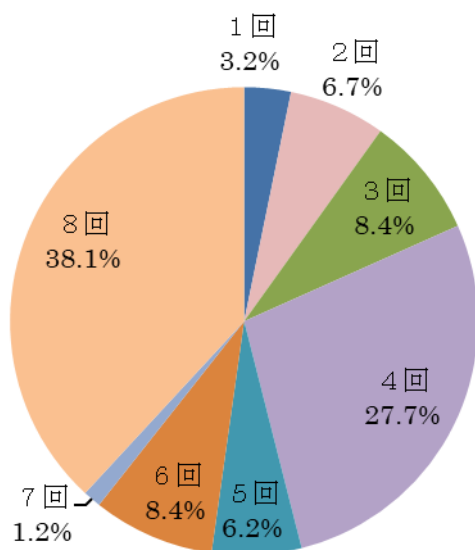
◆調査時期 平成31年4月4日（木）～平成31年4月23日（火）
（令和元年6月13日受付分まで集計）

◆回収結果 回収数 415件
（回収率 41.5%）

I 燃やせるごみについて

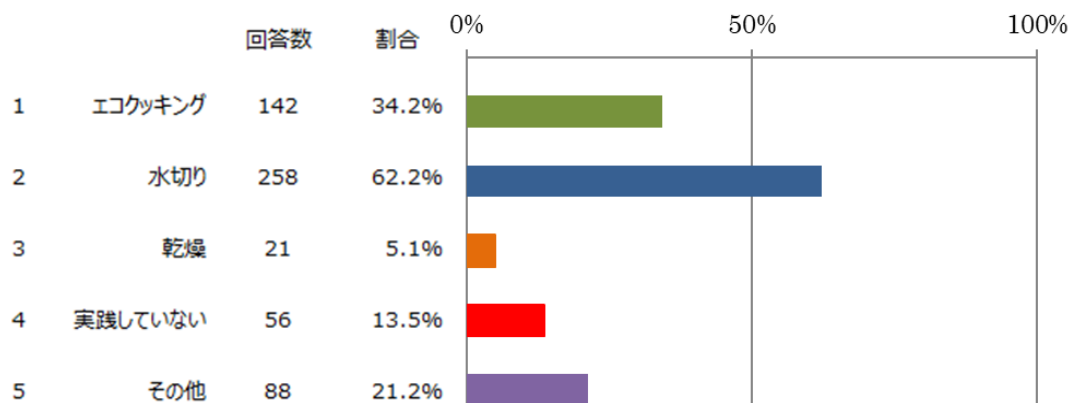
◎ 1 か月の排出頻度

		回答数	割合(%)
1か月の 排出頻度	1回	13	3.2%
	2回	27	6.7%
	3回	34	8.4%
	4回	112	27.7%
	5回	25	6.2%
	6回	34	8.4%
	7回	5	1.2%
	8回	154	38.1%
	合計	404	100.0%



	1 か月に 8 回排出 (=週に 2 回) 回答数	1 か月に 4 回排出 (=週に 1 回) 回答数
大袋のみ	29	30
中袋のみ	39	37
小袋のみ	18	29

【Q 1】生ごみの減量について実践していることはなんですか（複数回答可）

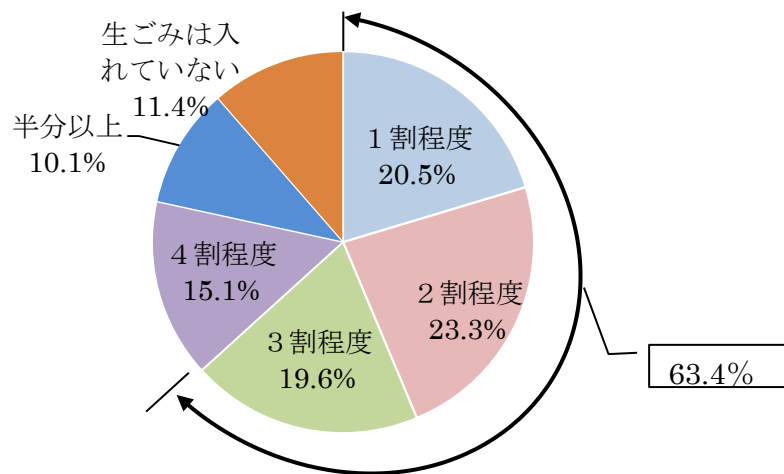


注)全回答者(=415)が上記の各事項について実践していると回答した数から算出した割合

5 その他回答	回答数
畑・庭に埋めている	38
コンポスター	12
電気式乾燥機	10
堆肥化	7
カット野菜等の購入	3
ぼっくん	3
エコペール	1
ディスポーザー	1
密閉式ポット	1
無回答	12
合計	88

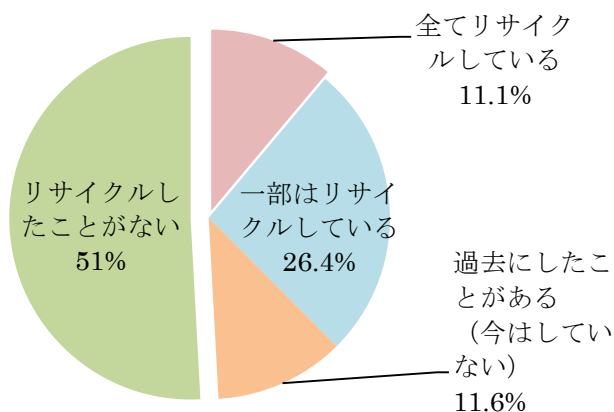
【Q2】 燃やせるごみ袋の中に、重さや見た目から、生ごみはどの程度入っていますか

		回答数	割合
1	1割程度	83	20.5%
2	2割程度	94	23.3%
3	3割程度	79	19.6%
4	4割程度	61	15.1%
5	半分以上	41	10.1%
6	生ごみは入れていない	46	11.4%
合計		404	100.0%

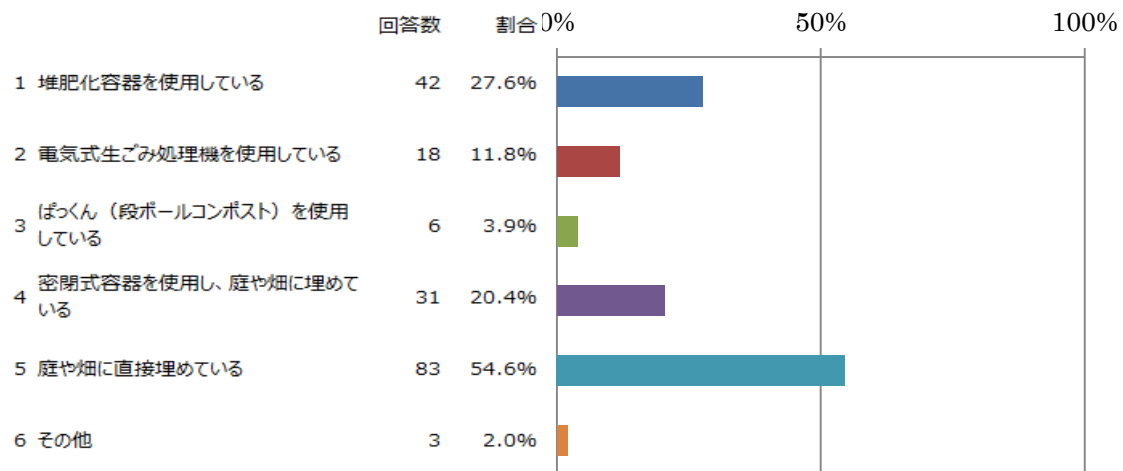


【Q3】 生ごみを堆肥化するなどリサイクルしていますか

		回答数	割合
1	全てリサイクルし、燃やせるごみとしては出していない	45	11.1%
2	一部はリサイクルし、一部は燃やせるごみで出している（一部を時々と読み替え可能）	107	26.4%
3	今はしていないが、過去にしたことがある	47	11.6%
4	リサイクルしたことがない	207	51.0%
合計		406	100.0%



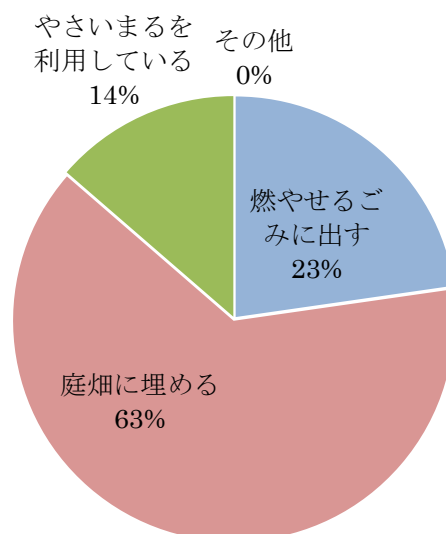
【Q4】（【Q3】ですべて、又は一部リサイクルしていると回答した方にお伺いします）現在行っている生ごみリサイクルの方法は何ですか（複数回答可）



注）前問で「全て」または「一部リサイクルしている」と回答した数(152)から算出した割合

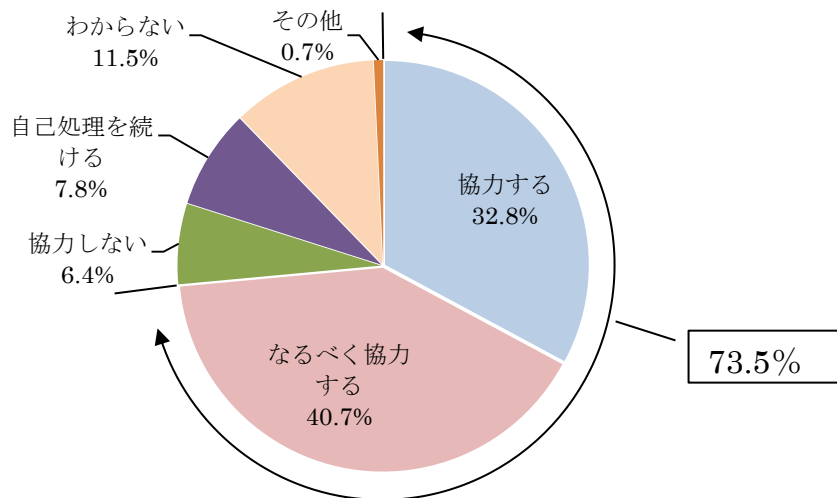
【Q5】（【Q4】で2、3にお答えした方にお伺いします）乾燥した生ごみや使い終わった「ぼっくん」の基材はどうしていますか

		回答数	割合
1	燃やせるごみに出す	5	22.7%
2	庭畑に埋める	14	63.6%
3	やさいまるを利用している	3	13.6%
4	その他	0	0.0%
合計		22	100.0%

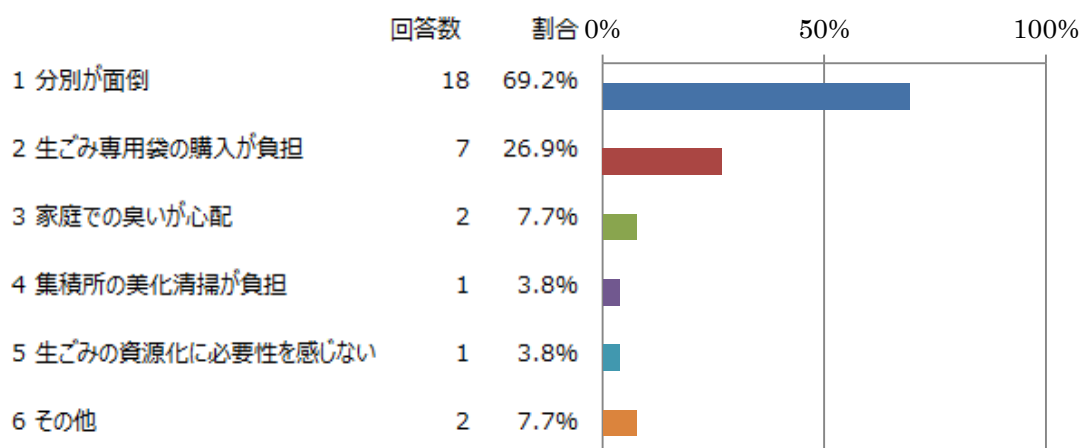


【Q6】仮に、市が家庭の燃やせるごみとは別に、生ごみだけを分別収集してリサイクルする事業を実施した場合、あなたは協力しますか

		回答数	割合
1	協力する	134	32.8%
2	なるべく協力する	166	40.7%
3	協力しない	26	6.4%
4	自己処理を続ける	32	7.8%
5	わからない	47	11.5%
6	その他	3	0.7%
合計		408	100.0%



【Q7】【Q6】で「3 協力しない」とした理由は何ですか（複数回答可）



注) 前問で「協力しない」と回答した数(26)から算出した割合